

安心で優しい、赤ちゃんの股関節チェック

— 当院で「エコー(超音波)検査」が受けられるようになりました —



従来のレントゲン検査



放射線の心配がある
軟骨が写りにくい
生後4-6ヶ月以降

新しいエコー検査(当院)



放射線ゼロで安心
軟骨もしっかり見える
生後すぐからOK

エコー検査の特徴

- ① 痛みがなく、安全です ② 身体への負担なし ③ お母さんの抱っこでもOK

- おむつを替えるとき、股の開きが硬い・左右差がある
- 太ももや股の「しわ」の数や位置が左右で違う
- 膝を立てたときに左右で長さが違うように見える
- 動かしたときに「ポキポキ」と音がする
- 赤ちゃんに強い「向き癖」がある
- ご家族に股関節の病気にかかった方がいる
- 逆子（骨盤位）で出産

当院の股関節エコー検査 3つの特徴

- **専用マット（ペコラ）でしっかり固定**

体の形に沿った特殊な溝のあるマットを使用するため、赤ちゃんが動いてしまう心配がなく、**安全かつ正確に「真横」の姿勢をキープ**できます。赤ちゃんを無理に押さえる必要ありません。

- **痛みがなく、被ばくの心配もゼロ**

ゼリーを塗って機械を当てるだけの優しい検査です。レントゲン（放射線）を使用しないため、赤ちゃんへの影響は一切ありません。

- **触診では見えにくい軽度の脱臼も早期発見**

-

乳児健診の手で触る検査（触診）だけでは気づきにくい、軽度の脱臼や亜脱臼も的確に診断できます。

比較項目	従来のレントゲン検査 □ □	新しく導入したエコー検査 
見えやすさ	軟骨が写りにくく、判断が難しい	軟骨もしっかり見えるため、より正確に診断可能
お体への負担	わずかながら放射線の被ばくがある	放射線ゼロ！ 体への負担がなく、何度でも安全
検査の様子	撮影中に赤ちゃんを固定する必要がある	あやしながらでも検査OK
早期発見	骨が育つ生後3～4ヶ月が対象になりやすい	生後すぐ（1ヶ月）の早い時期から6ヶ月頃まで正確にチェック可能 但し4ヶ月までに診断した方がよい